

団体名 一般社団法人 えがいの樹

事業名 コミュニティサロン「kurasu」

事業概要

- ・ 団地内外問わず地域住民へのコミュニティサロンを開設する。サロン内では、年齢問わず元気に動ける参加者にはお手伝いしていただく。
- ・ 地域住民のお困りごとや悩みごとを把握し、必要時には地域包括支援センターや区役所等、行政につなげるなど、適切な対応をする。

解決すべき地域の課題

- ・ 当該団地では、約2割以上が空室となっている。また、大阪メトロ・JRの駅から距離があることから、団地住民は高齢者が多いと思われる。
- ・ 高齢者は知人や家族に話せない悩み等も他人になら聞いてもらいやすいと、今までの活動で何度も耳にしたため、積極的に話しかけて信頼していただくことから始める。

活動状況

- ・ コミュニティサロン・喫茶室として、7時～15時開所（水・日曜日は7時～12時）。
- ・ 喫茶室では、未就学児無料、小学生100円、ひとり親家庭及び高齢者200円、上記以外300円でモーニングセット、その他テイクアウトコーヒーを提供。今後季節に応じたメニューを提供できるよう企画中。
- ・ 年齢問わず利用者を受け入れている。
- ・ コミュニティサロンでは、相談に応じて介護職員・大阪市市民後見人研修修了者などの様々な福祉資格保持者と連携をとり、地域住民が安心して暮らせるように見守りを行う。



【モーニングセット】



【フライヤー】

※詳しい活動状況は下記URLからinstagramをご覧ください。
https://www.instagram.com/cafe_salon_kurasu?igsh=MXQ5ZHhMTJ3bGc1MA==

活動に参加している利用者の状況（市営住宅の住民および近隣住民）

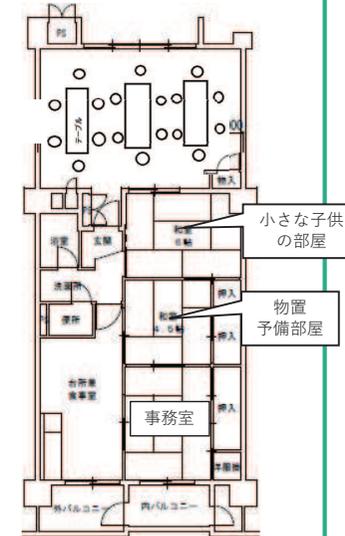
- ・ 主に市営住宅に住む高齢者が利用しており、口コミで利用者が増加している。

住戸の活用状況

- ・ 子どもにとって遊びやすくするため、襖を取り除いて部屋を一体的に使えるようにしている。
- ・ 絵本やおもちゃなどを設置している。
- ・ 内装には木を多く使い、温かみのある雰囲気となっている。



室内の活用状況



「市営住宅のコミュニティ活性化事業」の利用による変化

- ・ 市営住宅の1階という立地は、近隣住民の生活に密接しており、コミュニティを形成する上で好環境で活動できるようになった。
- ・ 常に扉を開けているため、通りがかりの住民の方々に声をかけられたり、同住宅店舗の店主とのつながりができるなど、地域住民との交流が生まれた。住民にとって利用しやすい場所になるように、団地自治会などに対してもPR活動を行っていく。
- ・ 区役所や社会福祉協議会等への働きかけがしやすく、話をしっかり聞いていただけるようになった。
- ・ 審査の上で選定されたので、民間の店舗を借りる場合よりも信用度が大きいように感じる。当法人としても、近隣住民の方々のご期待に沿えるよう努力していく。

活動団地の場所

【団地名】 浪速第9住宅 1号館 106号室

【所在地】 浪速区浪速西4丁目1番

